

処理前

オモダカ



処理時の葉齢：
矢尻葉3葉期



クログワイ



処理時の葉齢：
草丈30cm



コウキヤガラ



処理時の葉齢：
草丈30cm



シズイ



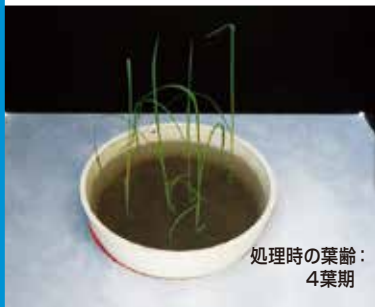
処理時の葉齢：
草丈20cm



ノビエ



処理時の葉齢：
4葉期



アトトリ処理

30日後



30日後



30日後



30日後



23日後



1成分で難防除雑草を狙い撃ち！



水稲用
中・後期
処理除草剤

アトトリ[®] 1キロ粒剤
豆つぶ[®]250

有効成分：ピリミスルファン……0.75% (1キロ粒剤)、3.0% (豆つぶ250)

アトトリ1キロ粒剤 農林水産省登録 第23114号 アトトリ豆つぶ250 農林水産省登録 第23843号

自然に学び自然を守る



®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。



- 1成分で多年生雑草に高い効果を示します。
- 初期剤や一発剤の取りこぼし、後発生の雑草防除に有効です。
- 4葉期までのノビエに高い効果を示します。
- 移植後14日～収穫45日前まで幅広く使用することができます。
- 直播水稲やWCSにもご使用いただけます。
- 10a当り250gと軽量で、拡散性に優れた豆つぶ製剤です(豆つぶ250)。



豆つぶ250製剤
(実物大)

■ 適用雑草および使用方法

アトトリ1キロ粒剤

農林水産省登録 第23114号

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピリミルスファンを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	ノビエ、多年生広葉雑草	移植後14日(稲5葉期以降) ～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	1kg	1回	湛水散布 または 無人航空機による散布	2回以内
直播水稲	オモダカ、クログワイ	稲5葉期～収穫45日前まで				

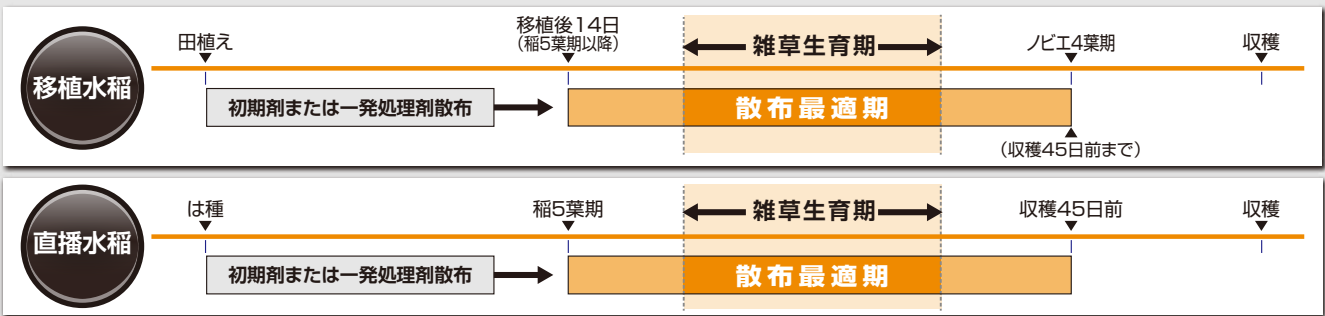
アトトリ豆つぶ250

農林水産省登録 第23843号

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピリミルスファンを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	ノビエ、多年生広葉雑草	移植後14日(稲5葉期以降) ～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	250g	1回	湛水散布 または 無人航空機による散布	2回以内
直播水稲	オモダカ、クログワイ	稲5葉期～収穫45日前まで				

■ 上手な使い方

○標準的な使用時期



使用上の注意事項

- 対象草種以外の雑草を防除するため、田植前後に使用する土壌処理除草剤との体系で使用してください。
- ノビエの4葉期までに有効なので、時期を失しないように散布してください。なお、生育期に入った雑草に効果がありますが、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
- ミスガヤツリは6葉期まで、ウリカワは4葉期まで、ヒルムシロは発生期までが散布適期です。(1キロ粒剤)
- ミスガヤツリは7葉期まで、ウリカワは5葉期まで、ヒルムシロは発生盛期までが散布適期です。(豆つぶ250)
- セリは再生期まで、オモダカでは発生盛期から矢尻葉3葉期まで、クログワイ、シズイ、コウキヤガラでは草丈30cm以下が散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラに有効な前処理剤との組み合わせで使用することにより、より高い効果が得られます。
- 5葉期未満の稲に対しては、葉害を生じるおそれがあるため、使用をさせていただきます。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(豆つぶ250)。

- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は本剤の拡散が不十分になるおそれがあるので使用をさせていただきます(豆つぶ250)。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさせていただきます。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。
- 直播水稲に使用する場合は以下に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさせていただきます。
 - 除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさせていただきます。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください(豆つぶ250)。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。

- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
- 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
- 水源池、飲料用水等に飛散、流入しないように十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意して使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください(1キロ粒剤)。
 - 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布の際は、保護眼鏡を着用して薬剤が、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当てを受けてください(豆つぶ250)。
 - 使用後は洗眼してください(豆つぶ250)。
- 保管:密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した場所に保管してください(1キロ粒剤)。
直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください(豆つぶ250)。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2019年11月現在の知見に基づき作成しています。1754(19-12)